

10月19日（土）はイクメンの日

**家事メン・イクメン増加中！ ただし、妻の本音は「もっと●●してほしい」**

女性のための生活情報紙「リビング新聞」を発行する株式会社サンケイリビング新聞社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長 内堀眞澄、以下弊社）では、主婦の“もういちど働く”を応援するホップ・ステップ・ワーキングシリーズを展開。女性の活躍を推進するためには、家事や育児を夫婦が力を合わせて行える社会環境が重要です。

そこで10月19日（土）の「イクメンの日」を前に男女それぞれに「夫の家事参加・育児参加」に関する調査を実施しました。

★アンケートはリビング web/リビングパートナー/産経新聞 iPhone 版・Android 版で実施した（9月5日～11日、有効回答数男性227 女性351）

**■ 夫は家事に参加しているか？に7割の夫が「はい」**

今回のアンケートでは、「夫(自分)は家事に参加している」と答えた夫は70.4%。妻の回答では夫が家事をする人は55.2%で、その差は15%。さらに家事参加への満足度を聞くと、60.6%と半数以上の妻が夫の参加に満足しています。ちなみに、男性の自分の家事参加への満足度はさらに高く75.7%という結果になりました。

ただし実際に声を聞くと、お互いに言いたいことがあるようです(下記参照)。特に、「自分が忙しいときには、自分で気づいて動いてほしい」「やり方が違うので困る」という妻が目立ちました。一方夫側にも、妻と同じようにはできないことで怒られたり、手を出さないでと言われたという悩みがあります。

**妻の悩みや不満『言われなくても気づいて』**

- ・手伝ってくれた後に探し物をしなければならない。結果時間の無駄に（妻45歳）
- ・（夫は）汚れていても気にならない。“気づいた人がやればいい”といいながら気づかない・しない（妻27歳）
- ・気付いて手伝ってほしい（妻65歳）
- ・食器洗いをしてくれるが水が出しっぱなし（妻29歳）
- ・何でもよくしてくれるが、仕上がりが雑なところが少し不満（妻34歳）

**夫の悩みや不満『やり方が違うと言われる』**

- ・できないことが多い、どうすればいいのかわからない（夫44歳）
- ・手伝おうとしても手を出さないと言われる（夫36歳）
- ・積極的に家事をしているが、雑なところがマイナスかな（夫34歳）
- ・洗濯物のたたみ方が妻と違うみたいで…（夫56歳）

**■ 言わなくても自主的に担当してほしいのは自動車や風呂の掃除**

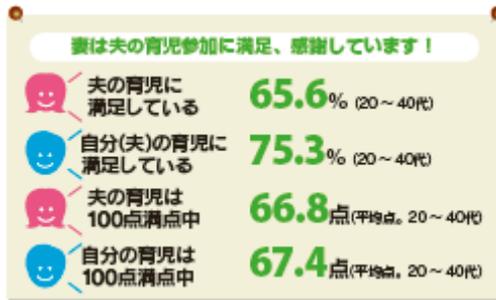
妻が夫に「言われなくても自分からしてほしい」家事は“掃除”でした。自動車・自転車の掃除や、風呂、庭などは、“言われてする手伝い”ではなく、自分で気づいて掃除する“担当者”になってほしいと考えています。

ゴミ出し・風呂掃除は「やってもいい」と思う夫が多い家事。ただし風呂掃除は「やりたくない」家事でも3位です。お風呂を自ら進んで掃除できるようになると、家事メンとしてポイントアップ！！

一方、多くの夫が「やりたくない」と考えている「食品などの買い物」「洗濯物を取り込む」。

一見簡単そうですが、献立や予算に合った商品選びや、たたくことを考えた取り込み方など、意外に主婦の眼鏡にかなうのが難しく、ダメ出しをされやすいのかも。妻側が、買い物のノウハウや注意点を丁寧に伝えることで、夫の積極的な参加を促すことができるかもしれませんね。

## ■約 8 割のパパが育児に参加。うち 75.3%が自分の育児に満足



今回のアンケートでは、20～40代の子どもを持つ男性の約8割が「育児に参加している」と回答。イマドキのパパはまさに“イクメン”です。

この状況に、妻の65.6%、夫の75.3%が満足。さらに、夫の育児参加を採点してもらったところ、夫は100点満点中67.4点、妻は66.8点とほとんど点差はありませんでした。

妻からは、「休日は子供と出かけたり、私に1人の時間をくれる」「周りからは“かなりイクメンだね”と言われます。しかし本人には自覚がないよう。“してやっ

ている感”が全くないことがあります」など、夫への感謝の声がありました。

しかし、家事と同様、フリーアンサーでは悩みや不満がいろいろあるようで…。

### 妻の悩みや不満『気が向いたときだけ』

- ・仕事が忙しいので仕方がないが、精神的にきつい時にそばにいてほしい(妻38歳)
- ・気が向いた時だけ手を出してくるから邪魔になる(妻37歳)
- ・私のやり方に口を出さないが、つまりは任せきりで関心がないということ。何かあると一人で悩む(妻48歳)
- ・携帯片手に子供の相手をしている。休日に友達に誘われれば友達を優先する(妻30歳)
- ・何もせず口ではいろいろ言うくせに、何かあると私のせいにする(妻38歳)
- ・育児は一人でするものでもなければ、その方向性を一人で決めるものでもない。手伝ってくれないことよりも、相談に乗ってくれなかったり、意見を聞きたくても“任せる”の一言で終わられることの方が辛い(妻35歳)

### 夫の悩みや不満『なかなか時間が取れない』

- ・自分は完璧にやっていると思っているが、妻に言わせると甘いだけで全く怒らない父親はダメだと言われる(夫48歳)
- ・男性の育休が取りにくい環境を、なんとかしてほしい(夫35歳)
- ・同級生の保護者たちとの関わりが苦手で、参加に遠慮がちになる(夫40歳)
- ・つつい自分の価値観で接してしまう(夫44歳)
- ・いつまで一緒に遊んでくれるかな…(夫40歳)
- ・本当はもっと子供と関わりたいが、仕事が忙しく、特に平日は子供と接する時間がなかなか取れないので、もう少し関わられる時間を増やせたら(夫34歳)
- ・現役時代、多忙過ぎて、参加できなかった(夫65歳)

## ■夫に「言わなくてもしてほしい」おむつ替えは、夫が「やりたくないこと」1位

<p>妻が言わなくても夫に自分からしてほしいことは？</p> <p>1位 おむつ替え(トイレの世話)</p> <p>2位 風呂に入れる</p> <p>3位 子供と遊ぶ</p>	<p>夫が「これはやってもいいな」と思うことは？</p> <p>1位 子供と遊ぶ</p> <p>2位 風呂に入れる</p> <p>3位 おやすみ・寝かしつける</p>	<p>夫が「これはやりたくないかも」と思うことは？</p> <p>1位 おむつ替え(トイレの世話)</p> <p>2位 着替えを手伝う</p> <p>3位 食事を作り、与える</p>
---	---	---

夫が「やってもいいな」と思う第1位「子供と遊ぶ」は、妻にとっては「言わなくても自分からしてほしいこと」の第3位。

「風呂に入れる」はともに2位。この2つは夫がもっと積極的になることで、お互いの満足度が高まるはず。

一方で、妻が「自分からやってほしい」と望んでいて、夫がやりたくないことの第1位は「おむつ替え(トイレの世話)」。これを自分からスツとできる人はイクメン上級者といえるかもしれません。

※アンケートの結果は、10月19日付リビング新聞の特集「できる家事メン・イクメン、ここがツボ」で、夫へのアドバイスとともに紹介します。リビングweb=<http://mrs.living.jp/>でも、10/17から公開します

イクメンの日とは…子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性を指す「イクメン」をもっと増やしていこうと、10月19日を10(とう)さん、19(いく)じの日と読む。2011年に制定

<本件に関するお問い合わせ先>

サンケイリビング新聞社 リビング編集部:滑川まで

E-mail:[cc@sankeiliving.co.jp](mailto:cc@sankeiliving.co.jp)

〒102-8515 東京都千代田区紀尾井町3-23 TEL:03-5216-9161 FAX:03-5216-9260